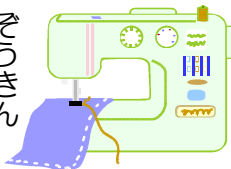


令和四年度 学校文集「令和四年五月」
ひらやま 二号

わくわくする音

三年三組 野別 來未

わたしの好きな音は、ミシンが動く音です。
「ガチャン、ガチャン、ガチャン。ウィーン、ウィーン、ウィーン。ドックン、ドックン」という、きまったらリズムで音がでるのでとても気持ちいいです。
まっすぐぬうところを手つだいしました。ミシンがかつてにすすむので、びっくりしてとてもむずかしかったです。
がんばったおかげで、ぞうきんとかわいいバッグができました。ミシンの音は新しいものができる、わくわくする音だなと思いました。



【宮崎日日新聞『若い目』】
令和四年四月二十三日】

断捨離

六年一組 初田 樺奏

断捨離をした。それは服だ。いつも着ていた思いでのたくさんつまった服。
「今日は、もう着なくなった服を整理しよう。」
と母から言われ、タンスの中の服を手にとった。
「この服を着てた日にたくさん

笑ったよね。」
「この服を着てた日は泣いて帰ったよね。」
次々に、たくさんのお出来事を思い出した。この服を捨てると思うと悲しくなった。思い出まで消えていきそうと、そんな思いを母に伝えた。そしたら、
「その服の思い出は、心の中にしまつて、あなたが忘れなければいいんじゃない。」
それを聞いてから、考え方を考えることができた。



これから着なくなった服をすすんで整理していこうと決意した。その服の思い出は心の中にずっとあるから。

【タリデイリー『光の子』】
令和四年四月二十三日】

音楽でワクワク

三年三組 布井 奏多

ぼくが好きな教科は、音楽です。なぜかという、歌ったりえんそうしたりするのが楽しいからです。
二年生の時に、みんなで「こぎつね」をけんばんハーマニカでひきました。そのとき、ぼくはましがえずにひけたのでうれしい気持ちになりました。けれど、もっと

うれしかったことは三十人みんなことです。そのときぼくは、「みんなでそろそろ音はきれいだな」と思いました。

それからぼくは音楽の授業がすきになりました。

三年生になった今も、ポケット歌しゅうの歌をみんなで歌っていて楽しいです。これからリコーダーの学習も始まります。リコーダーの音がかななるか、どんな音になるかワクワクします。もっと音楽が好きになりそうなく気がしています。



【宮崎日日新聞『若い目』】
令和四年四月三十日】

キジバトのこと

三年三組 茂谷 桜佑

ぼくは、学校に行くときにたまにキジバトを見つけます。鳴き方は、「デー、デー、ポッポ」と鳴きます。

家に帰って図かんで調べてきました。「まち中でぶつうにみられる、もっともみ近なハトです」と書いてありました。キジバトは、ハト科の鳥です。



図かんによれば、「北きよくや、南きよくなどのきよくたんにさむいところい外ならば、ちきゅう上のあらゆる場所に生そくするそれがハトです」「ハト

のなかまは、とてもしゅるいが多く、全せかいに三百しゅるいもいます」ということです。
ぼくが図かんで調べて、ハトのなかまがたくさんいるとはじめて知りました。そして、図かんはおもしろいと思いました。

【宮崎日日新聞『若い目』】
令和四年五月三日】

ぼーと空を

六年一組 黒木 歩夢

空ってすごい。見るだけであちつく。そんな空が好きだ。この作文を見る人、空は好き？ イメージするだけでおちつく。

空には雲がある。いろいろな形だ。ハートや丸や長細い雲もある。曇って不思議だ。

天気によって気分も変わる。晴れはウキウキ、雨はどんより、くもりはおちつく。天気はすごい。人の気分も変わる。だから空が好き。



【タリデイリー『光の子』】
令和四年四月二十二日】